指操作入力インタフェース技術

川又武典*

User Interface Technologies by Finger Touches and Tracing Actions

Takenori Kawamata

要　旨

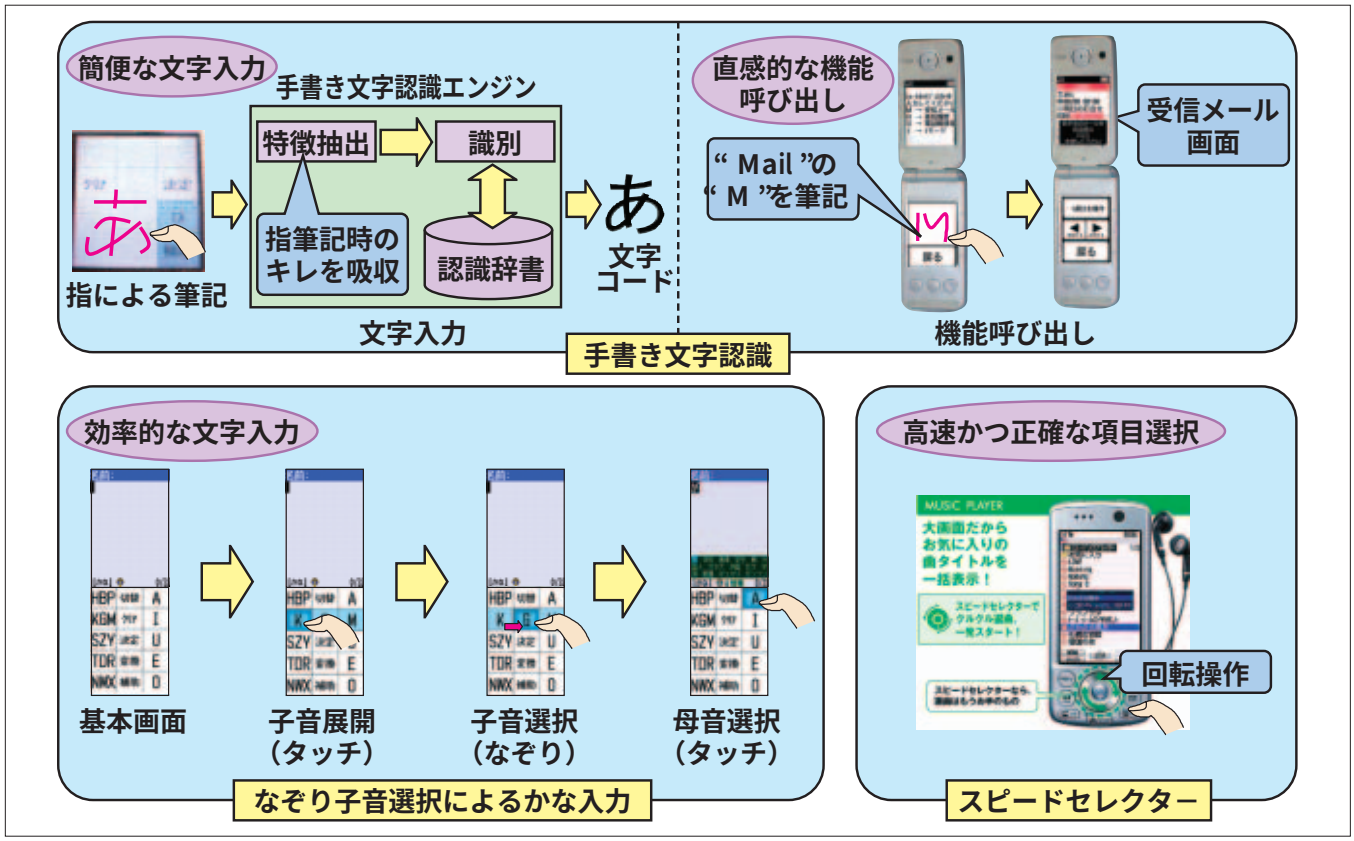
ユーザーニーズの多様化が進む携帯電話の新機種開発では，幅広い一般ユーザーを対象とした多機能端末と，ターゲットユーザーを絞り込んだ企画端末との２極化傾向が進んでいる。三菱電機でも，多機能端末として“D902iS”，“D903 i ”などを，企画端末として機能を絞り込んだ端末や女性向けを意識した端末などを製品化してきた。一方で，端末に搭載される機能やコンテンツは増加の一途をたどり，既存の入力インタフェース(テンキーと十字キー)では円滑な操作が困難となってきた。この課題を解決するため，多機能端末，企画端末の種類を問わず，簡便かつ素早く・確実に操作ができる入力インタフェースの実現が求められており，当社では，新規入力インタフェースを持つ端末の開発に注力している。

本稿では，最近の開発成果として，次の３つの技術について述べる。

(1)　テンキー操作が苦手な人でも簡単にメールなどの文章を作成することができるように，操作面をタッチパネル一体型の液晶画面で構成し，タッチパネルに指で書いた文字を自動認識する“手書き文字認識技術”

(2)　上記(1)のタッチパネルのなぞり操作を行うことで，効率的な文字入力を実現する“なぞり子音選択によるかな入力技術”

(3)　旧来の十字キーの特徴を生かしつつ，多機能端末におけるコンテンツ操作(大量の曲リストからの選択，フルブラウザにおけるリンク選択など)を高速かつ正確に実行できる“スピードセレクター”



指操作入力インタフェース技術

携帯電話の新しい入力インタフェースである，手書き文字認識(文字入力，機能呼び出し)，なぞり子音選択によるかな入力，スピードセレクターにより，簡便な文字入力及び操作が可能になる。

*情報技術総合研究所